



水稻 (福井米)

病虫害防除速報

J A 福井県
福井基幹支店

斑点米カメムシ注意報発令中!!

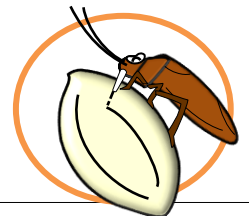
7月の早生品種における水田内の斑点米カメムシ類の発生量は、全体として平年・前年より多くなっています。現在、ハナエチゼンは傾穂期、今後、コシヒカリについては出穂期を迎えます。出穂とともに、カメムシ類の水田内への侵入量も増加するので、穂揃期と糊熟初期の2回防除を徹底しましょう。

【発生予報】

- 発生量: 平年、前年より多い
- 発生時期: 成虫の本田侵入最盛期は7月5半旬

【防除対策】

- 出穂期以降の草刈りはカメムシ類を水田内への侵入を助長するので行わない。
- 薬剤防除は、第1回目が穂揃期、第2回目が糊熟初期の2回防除を行う。
- カメムシ類は、水田の畦畔雑草地にもいるので、本田防除の際は畦畔も含めて防除する。
- クモヘリカメムシの発生が多い場合は、収穫14～7日前に追加防除を行う。
ただし、使用基準を遵守する。



斑点米はカメムシがモミに口吻を突っ込み唾液で、子実を溶かして汁を吸い上げる。その傷跡にバクテリアやカビなどがついて変色し『斑点』ができる。

斑点米は、1,000粒に2粒以上で2等米です。

【カメムシ類防除薬剤】

防除時期	区分	薬剤名	収穫前日数
第1回目: 穂揃期 (出穂3～5日後頃)	粉剤	スタークル粉剤DL	7日前
		ダントツH粉剤DL	7日前
		トレボン粉剤DL	7日前
第2回目: 糊熟初期	液剤	ダントツフロアブル	7日前
		スタークル液剤	7日前
	粒剤	キラップ微粒剤F	14日前
		スタークル粒剤	7日前
粒剤は薬剤によって散布適期が異なります。粒剤の散布時は水深3cm程度の湛水状態とし、自然落水する。			



トゲシラホシカメムシ

大きさ
小



アカシカスミカメ



ホリハラカメムシ



クモヘリカメムシ

大